

産業建設委員会記録

令和2年5月25日（月）
9時55分～12時24分
全員協議会室

【委員】串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】西川議員、小川議員、芦谷議員、牛尾議員

【議長団】

【執行部】

（産業経済部）湯浅産業経済部長、佐々木産業経済部副部長（兼広島事務所長）、
大驛商工労働課長、山口産業振興課長、田中ふるさと寄附推進室長、
久佐農林振興課長、永見水産振興課長

（都市建設部）鎌田都市建設部長、西谷建設企画課長、皆尾地籍調査課長、
倉本維持管理課長、邊建築住宅課長

（金城支所）篠原金城支所長

（旭支所）塚田旭自治区長、佐々尾旭支所長、西川旭支所産業建設課長

（弥栄支所）外浦弥栄支所長、三浦弥栄支所産業建設課長

【事務局】近重書記

1. 執行部報告事項

- | | |
|---|------------------|
| (1) 地域おこし協力隊員について（報告） | 【商工労働課】 |
| (2) 株式会社エコーシステム浜田営業所の閉鎖について（報告） | 【商工労働課】 |
| (3) 令和元年度 萩・石見空港の状況について（報告） | 【商工労働課】 |
| (4) 令和元年度 はまだ産業振興機構活動実績について（報告） | 【産業振興課】 |
| (5) 令和元年度 浜田港の概況について（報告） | 【産業振興課】 |
| (6) 令和元年度 ふるさと寄附の実績について（報告） | 【ふるさと寄附推進室】 |
| (7) 令和元年度 広島事務所活動実績について（報告） | 【広島事務所】 |
| (8) 令和元年 浜田市農業産出額について（報告） | 【農林振興課】 |
| (9) 漁業別水揚げについて（報告） | 【水産振興課】 |
| (10) エンジェルハンドに係る補助金返還命令及び損害賠償請求について（報告） | 【旭支所産業建設課、商工労働課】 |
| (11) ふるさと体験村施設の指定管理者公募期間の変更について（報告） | 【弥栄支所産業建設課】 |
| (12) 浜田駅前広場整備事業の進捗状況について | 【建設企画課】 |
| (13) 浜田市雇用促進住宅の譲渡に関するアンケート集計結果について | 【建築住宅課】 |
| (14) その他 | |

2. その他

3. 産業建設委員会の今後の取組について

【議事の経過】

〔 09 時 55 分 開議 〕

串崎委員長

ただいまから産業建設委員会を開催する。出席委員は7名で定足数に達している。

議題に入る前に、4月の選任及び人事異動で異動された管理職の皆に一言ずつご挨拶をいただきたい。

今回は、新型コロナウイルス感染症防止のため、3密を避ける意味合いから議題に該当のない管理職の者にご挨拶をいただいた後、退席いただいて構わない。

(異動のあった執行部の挨拶)

対象者 (11名)

塚田旭自治区長、鎌田都市建設部長、篠原金城支所長、佐々尾旭支所長、外浦弥栄支所長、西谷建設企画課長、皆尾地籍調査課長、倉本維持管理課長、邊建築住宅課長、西川旭支所産業建設課長、三浦弥栄支所産業建設課長

串崎委員長

よろしく願います。ではレジュメに沿って進める。

1. 執行部報告事項

(1) 地域おこし協力隊員について (報告)

串崎委員長

商工労働課長。

商工労働課長

(以下、資料をもとに説明)

3月の委員会で地域おこし協力隊の募集結果について報告している。後継者マッチング支援事業と料理人育成支援事業で各1名ずつ着任したので報告する。後継者マッチング支援では県外から4月に転居されている。まず生活基盤を整えたい希望があり、委嘱期間は5月1日からとして活動開始している。

次に料理人育成支援事業については、県外から転居されている。4月13日から活動を開始している。事業内容は記載のとおり。

活動状況は、後継者マッチング支援事業の地域おこし協力隊は、5月は今後の事業継続に必要な知識を身につける期間として活動を開始した。市の施策や産業・文化・資源・施設などの説明や訪問を行った。事業承継支援機関や市内金融機関へのあいさつや面接を行った。並行して事業承継の手法についての知識や事業を行うために必要な知識について商工団体と連携しながら学んでいる。今後、新型コロナウイルス感染症による影響や状況も見ながら後継者を探している市内事業者の募集を行い面談や研修に進めたい。

料理人育成支援事業の地域おこし協力隊員については4月20日より金城観光ホテルにて研修中。研修受け入れ希望事業所が4か所あったがそれぞれ1カ月間の研修後に本格的な研修先を決定し、1事業者を決定する。本来なら千畳苑からスタートだったが新型コロナウイルス等の影響で宿泊・旅館業について予約のキャンセルや外出自粛等によりやむなく休業、またはそれに近い状況である。そのため何とか金城観光ホテルに受け入れてもらったのが現状である。今後新型コロナウイルスの状況を見なが

串崎委員長
布施委員

ら研修先の確保に努めたい。

委員から質疑はあるか。

後継者マッチングや料理人の育成は浜田市にとって探すのは地元でも大変ということで本事業については理解をしている。新型コロナウイルスの関係で、期間や料理人については1カ月毎に現場が違うところを経験することでさらにスキルアップできると考えているが、期間や場所等、終息が見通せない。自粛解除になっても全国的に経済が動き出しても観光業、特に飲食が伴う所は、地元消費はあるが、プレミアム券がついて食事券や宿泊券が出るが、県外市外の方が来る観光業はまだまだ時間がかかると言われている。そういった中でマッチングして現場で研修するにあたり、相当な思いと現場が変わってくる可能性がある。執行部として現場任せにするのか、定期的にヒアリングを行い、問題が起これば解決に向けてミーティング等をされるのか。その計画があればうかがいたい。

商工労働課長

毎月定期的に地域おこし協力隊の活動状況を踏まえて面談を行っている。場合によっては、1月待たずに必要に応じて相談・要望があれば随時面談を行っている。あわせて研修先になる事業者については、定期的な訪問を行い、様子をうかがいながら新たな課題がないか協議しながら、次の研修メニューを相談させてもらっている。

布施委員

後継者マッチング支援で来られた方は家族で来られているので、家族にも市の支援を。地域に溶け込むための支援もあれば非常に助かるのでは。家族へのヒアリングや指導の考えはあるか。

商工労働課長

ご家族は空き家バンクで市内の一軒家に住んでいる。子どもも市内に通学している。当然教育委員会との情報共有、地域の連絡員さんや町内会長さんへあいさつに行くなど。そういったことで不安にならないように随時相談して対応している。

野藤委員

後継者マッチング支援で来られた方は家族5人で来られている。どのような業種とのマッチングを希望されているのか。例えば個人経営、法人組織等。わかる範囲でお答えいただきたい。

商工労働課長

ご希望はサービス業、小売業、宿泊業を考えておられた。こちらに来られて業種がいろいろあり、お話する中で業種を絞らずにいろいろな話を聞いて今後しっかり決めたいという希望を聞いている。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(2) 株式会社エコーシステム浜田営業所の閉鎖について (報告)

串崎委員長

商工労働課長。

商工労働課長

(以下、資料をもとに説明)

12月の産業建設委員会の所管事務調査で報告させてもらっている。9月30日付で浜田の事務所を退去した。9月末の一時退去後に島根県認定による誘致企業のため島根県と一緒に年度内再開を求め、再開されない場合は県条例・市条例に基づき、雇用助成奨励金の島根県が400万円、浜田市が200万円の返還についてその時から説明し、この間、事業所と島根県、浜田市の3者で営業再開に向けた取組を進めていた。残念ながら最終的に

浜田営業所は離職率が高く、管理できる人材確保が進まず、仕事もなく、再開めどが立たないため会社として閉鎖を決定された。雇用助成奨励金は令和2年4月6日に返還をしてもらっている。

申崎委員長
笹田委員

委員から質疑はあるか。

浜田に誘致した企業が去るのは非常に寂しい。県も市も力を注いで誘致した企業が実績を残さず閉鎖されるのは非常に問題と感じる。これについて浜田市としてはどのように考えるか。今後こういったところの誘致をするときにどのような協力をするのか。

商工労働課長

市としても非常に残念だと受け止めている。どこまでできたかの反省をしていく必要がある。当課だけでなく産業経済部として取組を考える必要があると考えている。結果的に閉鎖になったがこれでご縁が切れたわけではない。広島に引き続き情報共有を図り今後新たなことができないか模索しながら取り組みたい。

野藤委員

4点の理由があるがIT関連は立地を選ばないと最初は思っていたのに、この閉鎖理由に疑問がある。支援や相談はされたのか。

商工労働課長

人材確保の視点でうちも一緒に説明会をしてきた。偶然、当初4名採用されその中には市内高等学校から採用された方もいる。その方は広島で研修を受けているが、採用された方がご自身の都合で離職することが重なってしまったのが一番大きな理由だと思う。市としても至らない点があったかもしれないがこれについては情報共有して、自分たちでできること、これからできることを対応したい。

野藤委員

IT関連ではe-Frontが頑張っている。宮崎の油津の商店街、IT関連の8社を誘致した実績もある。これからもIT関連はこれに懲りず一生懸命やっていたきたい。

布施委員

一企業の問題ではない。2委員が言ったが問題点は列記されているが、エコシステムは広島市場開拓室が最初に誘致した企業で第一号だと思う。予算の中や委員会の中で広島開拓室の成果を求めたときにいろんな条件があっても進出企業があるということで応援をしていた。私の自宅の目の前に会社があり、朝に顔を合わせることもあったので閉鎖して非常に残念。一企業の問題でなく一番は人材確保、離職率が高い。新しいところで離職率が高いというのはいろんな問題が出てくる。企業側ではなく誘致する際にそういう点をしっかり詰めた上での進出企業だと思っていたが、この理由を見る限りどうだったのかと思う。課長の答弁もあったがしっかり受けとめて。誘致しても働く人がいなければ、固定資産税や税を安くしても働く人がいなければ閉鎖になる。ぜひともそこをクリアして取り組んでほしい。一企業ではなくて市の問題として捉え、しっかり勉強して行ってほしいとの答弁を求めるが。

広島事務所長

委員ご指摘のとおり広島開拓室第1号の誘致企業だったので、このような結果となり非常に残念である。市の誘致企業への思いは本会議で申したかもしれないが、大切にしていきたい。常に我々も何度も企業訪問しているし、退去についても県の企業立地課と商工労働課と一緒に何とか年度末に再開を頼み、企業側も努力すると答えてくれていた。営業所でトップになる人を探したいという要望を言われたので、我々も市内の関係団体や企業、金融機関に状況を話しながら探していた。2、3月にこちら

に来て人材確保したいということもあった。しかし新型コロナウイルスの影響で県をまたいでの出張ができず、年度内に浜田営業所のトップになるような人を採用できなかった。しかし、エコーシステムの社長はご縁を大切にされる方なので、いったん事務所を閉鎖されたが、今後浜田営業所トップになるような人が採用されたら再開したい思いがあるので、引き続き広島事務所としても本社をお邪魔し情報交換しながら再開に向けて努力したい。

布施委員

室長の答弁はよくわかった。地元で人材を育てるのも大事だが、こうした時代なので、広島のそれなりの中間管理職の方が、浜田への往来も容易い時間帯と思う。人材を育てるまでは広島から中間管理職の方がきて支所長代理をして一緒に育てるやり方もあると思う。新型コロナウイルスの影響によりテレワークもできる。ましてやIT会社なので、考えればあると思う。そういうことも考えながらやってほしい。問題をだめではなくて勉強させていただいた気持ちで、次の進出企業に向けて問題点としての捉え方をしてほしい。

道下委員

エコーシステム進出時に浜田市のことを十分調べて雇用確保、仕事成立したと十分考えてこられたと思う。資料の下段、人材確保が進まない、仕事もなかったと書かれて非常に気に入らない。なぜこうなったのか。

広島事務所長

浜田営業所開設当時は、福山の営業所所長が兼務していた。浜田商業生や江津市のポリテクカレッジからも採用されたが、そういう方はいったん研修で広島に行き、しばらくして地元の営業所長やSEがいた。当初計画ではここでは本社のシステム開発の助けをする予定だったが、開設してしばらくしてから営業関係に重きを置いた。なかなか成果が上がらない。浜田の営業所長やSEが全部辞めてしまった。そのためトップとなる営業所長を探していたのだが、この状況の中で当初のように福山営業所長兼務とすることはエコーシステムさんも人手不足で兼務も叶わず今回の結果になった。

道下委員

私も最初の所長と直接会ってお話した際、浜田市に仕事はあると強く言い雇用も発生し、いい仕事をしてほしいと言ったが、仕事がなかったというのは非常に残念。今、話を伺うと方向転換したと聞き納得した。こちらに開設する社長の意向も伺えたので今回を踏まえてまた探していただきたい。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(3) 令和元年度 萩・石見空港の状況について (報告)

串崎委員長

商工労働課長。

商工労働課長

(以下、資料をもとに説明)

14万689席で過去最高の前年度14万6833席に対して6144席のマイナスとなり前年度比95.8%と下回った。年間目標の14万8千席に対しても7311席減の不足となった。要因は令和2年2月末までは前年に比べて2266人上回り年間目標の達成及び前年度実績を上回るものであったが、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により3月の搭乗率が前年度比36.4%と大幅に減少したことから最終的な結果となった。令和元年度の本市独自の補助

事業だが、全体で9265席となり前年度比98%という状況。運賃助成制度のPRや市内サポーター企業の利用促進を図ったが3月のコロナウイルス感染症の影響で最終的な利用者が低迷したため減少となった。

羽田発着枠の政策コンテストについて。7空港から応募があり3月4日に提案者のヒアリングが行われた。3月中旬にはコンテストの選定路線が決定されるはずだったが、新型コロナウイルス感染症影響のため発表が遅れ、5月14日付で国土交通省より発表があった。鳥取空港に次ぐ第2位で萩・石見空港の東京便の2便化が決定した。期間は令和2年10月25日から令和5年3月25日までの約2年半継続となる。しかし新型コロナウイルスのため萩・石見空港の東京-羽田空港の路線の運休や減便されている。4月28日に運行会社の全日空から発表があったが4月9日以降、午後便が5月31日までの間運休となった。5月7日以降は、火・木・土曜日の全ての午前便も運休となった。さらに、5月21日付けで6月30日までの運行について発表があった。午前便は6月13日まで火・木・土曜日の運休、午後便については5月に引き続いて全て運休となっている。令和2年度の取組については新型コロナウイルス感染症発生前の設定目標や取組を記載している。終息するまでは積極的なPRは控えている。現在、コロナウイルスの影響で利用激減が予想されるので終息の見通しが立った段階で改めて目標を立て、反転攻勢がかけられるように関係機関と連携して利用促進に取り組むつもりである。

串崎委員長
布施委員

委員から質疑はあるか。

2便化の決定は大変嬉しい。新型コロナウイルスの関係で計画している便がない状況である。昨日か一昨日消費者庁が新しい生活様式の様子ということで、交通に関しても3密を避けるため、密が多いのでバス・電車、もちろん飛行機に気をつけるようにとのことであった。。萩・石見空港は最近行ってないが、搭乗時に検温等をされているか。マスク着用は。ある空港ではマスク不着用や微熱がある方は搭乗してもらわないようお願いをするという報道もあったが確認しているか。

商工労働課長

確認が取れてない。我々も出向く機会がないので全てを把握しておらず報道等の対策程度しか把握していない。空港側も最大限対策を取っていると思うが、後に確認する。減便になっている中で搭乗者も一桁であるとか非常に少ないと聞いている。

布施委員

2便化決定は、昨年度の取組が功を奏した面もあると思う。企業の利用促進や修学旅行や団体客の取組が前なかったものが影響していると思う。団体客が空港を利用すると搭乗率が上がる。是非、下地をしっかりと、営業活動を関係団体にしてもらって、気分のいい空の旅を働きかけていただきたい。

商工労働課長

こういった状況で今すぐとはいかないが、終息を迎えるに当たり、各種施策も出てくると思う。そういったものを活用しながら関係機関と連携してしっかりやっていきたいのでご協力をお願いします。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(4) 令和元年度 はまだ産業振興機構活動実績について(報告)

串崎委員長
産業振興課長

産業振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

はまだ産業振興機構では、浜田製品の販路拡大を目的に営業活動をしている。全体実績は、対応企業数は160社。延べは610回。商談等のマッチング支援件数は390件。内成約件数は77件で新規成約は38件。取引金額は1億1495万8千円になっている。この数字は事業者からヒアリングを元に聞き取りをしている。中には数字を提供いただけない事業所もあるのでご容赦いただきたい。前年と比較して件数・実績増加要因は関東関西の飲食店の取引が増加したこと。関西の小売り、スーパーとの取引が新規で始まったことが要因。対応企業件数の回数増加の要因は今年4月から食品表示（アレルギー・成分表示）の義務化が行われた。それに向けて販路には当然必要な表示なので昨年度は重点的に企業訪問等行って、ラベル表示の切り替え支援を行った。分野別は資料下段の記載を確認願う。引き続き販路拡大に取り組みたい。

串崎委員長
野藤委員
産業振興課長

委員から質疑はあるか。

分野別一覧のその他で、令和元年11件マイナスの原因は何か。

一昨年、台湾（台中）のスーパー、日本にも法人があるがJETROの紹介により販路拡大をした。そちらが全国いろいろな市町村、自治体と連携して取り組んでいたが、今年度は開催予定であったが調整がつかないため取りやめになったことが原因である。

野藤委員

日本製品は台湾で評判が良いと聞いている。これからも働きかけはしてもらいたい。

串崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 令和元年度 浜田港の概況について（報告）

串崎委員長
産業振興課長

産業振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

令和元年度の貿易総額は、429億5400万円。輸出・輸入ともに増加している。貿易品目や相手国は資料記載のとおり。コンテナ航路の実績。昨年度の4113TEU（20フィート換算）であり3年連続過去最高を記録している。原因は昨年1月からコンテナ船が週2便化になったことが大きな要因だと思われる。浜田港を選択してもらった選択肢が増えたため。増加要因はパルプ・冷凍魚の輸出の増加。輸入については邑南町の太陽光資材、三隅発電所の建設資材等の金属、一般機械の増加。それと稲わら、牧草が浜田港から輸入開始されたことも大きい要因。

クルーズ船寄港状況だが昨年度2回あったが、今年度当初4回の予定であったがすでに1寄港が中止決定になった。今後コスタ・ネオロマンチカ3回予定であるが新型コロナウイルス感染症の影響で今後どうなるかは未定。動向を注視していきたい。

串崎委員長
川上委員
産業振興課長

委員から質疑はあるか。

輸出についてそのうち、浜田市に関係するものがどれだったか。

浜田市、正直、浜田市で貿易を行っていただけるのは実際7社認識している。一番大きいのは日本海の拠点港に指定されているが合板製造に

川上委員
串崎委員長

向けての原木輸入が一番と思っている。失礼しました。輸出については基本的に冷凍魚の輸出のみと考えている。

後で結構なのでどの程度のボリュームがあるのか教えてほしい。
他にあるか。

(「なし」という声あり)

(6) 令和元年度 ふるさと寄附の実績について (報告)

串崎委員長
ふるさと寄附推進室長

ふるさと寄附推進室長。

(以下、資料をもとに説明)

ふるさと納税の制度は、令和元年6月から国の新たな指定制度が開始された。令和元年6月1日から令和2年9月30日までの指定を受けている。新制度では経費削減の必要がある。増税に合わせて返礼品をリニューアルした。令和元年度の実績だが、1月31日の産業建設委員会では12月までで12億円を超えたことを報告したが3月末で13億3900万円となり、前年度との比較で約7600万円、約5.4%減となった。令和元年6月の国の新たな指定制度開始により、それまで多額に寄附を集めていた4つの自治体も参加できなくなったが、近年これまで力を入れていない自治体がポータルサイトを複数にするなど、先行して寄附を集めていた自治体と同様の取組を始めたため、だんだん競争が厳しくなっている状況である。10月の増税にあわせた返礼品のリニューアルや経費の見直し主力の返礼品のノドグロ不漁もあり、寄附額の低下につながりかねない要因はあった。寄附額を伸ばすことはできなかったが何とか13億円確保した。

令和元年度の取組であるが、特集企画及び特産品の充実ということで開府400年や浜田港旬のお魚・鍋特集、お食事プランなど季節に応じた特集を企画してPRに努めた。返礼品についても随時新たな特産品を追加した。PRイベントへの参加はふるさとチョイス運営元のトラストバンク主催のイベントに出席した。特産品提供事業者の方と企画から取り組んで実施した。会場では寄附者と直接触れ合えた事業所もいた。リピーター対策では、令和元年度もメールマガジンの他、以前寄附をいただいた方への直接パンフレットを送るダイレクトメールや年賀状の送付も実施した。年度末には、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業者支援とすることでふるさとチョイスや楽天の特集企画に応募して実際に影響のあった事業者の特産品を掲載している。それぞれ応募の条件があつてふるさとチョイスでは合計13事業者、楽天では2事業者が掲載された。その後新しい企画もあるので引き続き対応していきたい。

資料はないが5月19日の臨時会議であった、新型コロナウイルス感染症関係の浜田市支援策においてふるさと寄附によるクラウドファンディングを実施して小中学校の感染症対策費用へ充当することが挙げられていたが、本日10時からふるさとチョイスにおいて取組がスタートした。目標額500万円、今年末まで行う。いただいた寄附金は小中学校の非接触型体温計、消毒液、空気清浄機の購入費用に充当される。議員の皆さんは市に寄附はできないことは存じているが広くご紹介をお願いする。まだオープンしただけでページができただけなので関係する様々な場所へリンクを張り報告・宣伝を広げていきたい。

串崎委員長
川上委員

委員から質疑はあるか。

周辺自治体も既にふるさと寄附の活動をしており、どうしても返礼品が重なることが想定される。差別化の工夫をしているか。

寄附推進室長

県内には多額の寄附を集めている所はないが、近年伸びてきているところがある。浜田市は水産物・農産物ともにあるため両面でアピールしているが、特に浜田市の主力はノドグロなのでそのPRは強めている。

近年国の制度改正により、以前取り扱っていたしまね和牛は市内の生育業者がよそから仕入れて特産品として扱っていたがよそで生産された牛肉の扱いが返礼品にできなくなったので令和元年度からは取り扱いをやめている。逆に厳しい部分があったが松永牧場が進出され、交渉の結果、浜田市でも牛肉が扱えるようになった。魚だけでなく少しでも他の部分に広げるよう取り組んでいる。

野藤委員

ふるさとチョイスcaféイベントとあるが会場はどこになるのか。

寄附推進室長

有楽町の駅近くにビルがあり、その一角でトラストバンク社が常にカフェを経営しており、各自治体が2～3日間そこを借りる形でイベントを開催している。

野藤委員

番地だけだとわからなかった。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(7) 令和元年度 広島事務所活動実績について (報告)

串崎委員長

広島事務所長。

広島事務所長

(以下、資料をもとに説明)

販路開拓であるが成立件数は、106件で対前年度14件増。金額は1億3404万8千円で対前年4030万5千円の増の実績となった。内訳を説明する。商品のカテゴリーの金額一覧を掲載している。もっとも多いのは水産。1億3404万8千円の内、1億180万5千円が水産品であり全体の76%を占める。平成30年度と比較すると畜産は減っているが、その他は増加している。増加の原因は昨年7月にオープンした浜田産直組合の新規取扱開始や既存の取引先スーパーとの取引が増えたこと。企業誘致の成立件数は1社である。すでに3月の産業建設委員会で報告済。神奈川県川崎市に本社を置き建設コンサルタント業を行っている日本ミクニヤ株式会社が旭町にサテライトオフィスを開設。ポートセールスは、浜田港のコンテナ航路が週2便化したことから成果として定期コンテナ航路新規5社。荷主5社の内訳は、1社は牧場の飼料、残りは三隅火電2号機建設関係企業3社、残りは木材関係製造業者1社。観光誘客は、延べ誘客数は2627人で対前年度525人の減。利用した市内観光施設の延べ利用者数は9331人で対前年比779人の減。延べ宿泊者数も1347泊で前年比504泊の減となっている。観光誘客実績は令和元年の4月から12月は前年度並みの実績で推移していたが、令和2年1月以降新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが相次ぎ実績が大幅に減少した。

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

川上委員

広島事務所は所長と職員が各1名。2名で1億3千万円。産業振興機構はかなりの人数がいる中で成立金額が1億1千万円くらい。広島が頑張っ

広島事務所長	<p>いるが何か重なったのか。</p> <p>産業振興機構と広島事務所は基本的には地域割りとして販路開拓している。広島は広島中心として山陽方面・四国・九州を管轄。それ以外を産業振興課が担当している。あくまで浜田製品の販路開拓が仕事なので、地域が重なっていないが浜田市内の企業の支援ではある程度情報共有しながら重なっている部分もある。</p>
川上委員	<p>浜田市から関西・関東と。広島市内から関東・関西へ行く方が交通の便もいいので効率的だと思うが。</p>
広島事務所長	<p>販路開拓に限らず企業誘致とポートセールスでも言えることだが、例えば広島の企業で例えば貿易や商社を通して浜田に入れていると大阪とか関東とか本社、広島に支店があれば、本社が大阪や東京にあるということで決定権があるとそこに行くことを広島も行っているのも特にその広島事務所はさっきの所ではなくて東京や大阪にも行くのでケースバイケースで広島についても企業誘致・ポートセールス・販路開拓においても関西関東方面に行くこともある。</p>
飛野副委員長	<p>良い実績を残されている。新規開拓の部分に力を入れたように受け取った。戦略があったのか。</p>
広島事務所長	<p>広島事務所の目標として、開設丸6年になったが、今までの訪問で企業情報を積み重ねた。リスト化して一覧表にしてランク別、訪問して見込みがあればA、見込みが薄いところはC等ランク別にして、前年度の見込みのある企業を重点的にまわったので新規開拓が増えたと思われる。</p>
飛野副委員長	<p>過去の実績から分析して対応された。内訳の説明があったが、農産品が大きく伸びている。その他のカテゴリー2200万円についても。</p>
広島事務所長	<p>農産品が580万円増えているが、これは産直組合の有機野菜が主な内容である。その他の浜田産直組合や既存のスーパーに味噌、醤油、ジャム、いろいろあるが、水産、農産の記載以外のものが増えた状況。</p>
飛野副委員長	<p>産直で売る農産品の内訳はないか。品目別等。</p>
広島事務所長	<p>産直組合と、主には広島の既存のスーパーが主な取引先。</p>
飛野副委員長	<p>品目は。</p>
広島事務所長	<p>野菜、青果が主。その他については、これも産直組合のグロサリー関係が主。広島にあるスーパーが結構大きなグロサリー取引が金額的に大きいものが一番の要因。</p>
串崎委員長	<p>その他あるか。</p> <p>(「なし」という声あり)</p>

(8) 令和元年 浜田市農業産出額について (報告)

串崎委員長
農林振興課長

農林振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

表右下二重線の部分。令和元年はこれまでで最高額39億35万6千円である。対前年比で8%、2億9千万円の増額。主な要因は昨年浜田メイプル牧場操業開始、TCはまだ農場の産出額が大幅に増加した。内訳は生乳、子牛の売り上げ、約2億2千万円。TCはまだ農場については、平成30年で約1200万円の産出額から令和元年約8千万円で約6800万円増額となっており、2社で約2億8800万円の増額となっておりこの2社の要因による。他の品目

は、概ね合計で横ばいであるが内訳では水稻、果樹では、梅雨時期の日照不足と盆前後の猛暑と異常気象により収量の減少や品質低下等があった。野菜類では暖冬の影響で収量は増加したが価格安になったため、多くの品目で天候不順の影響を大きく受けており産出額が減少しているものが多い。一方、豚肉は比較的高値で市場取引された。また、出荷頭数も増加。品目としては伸びている。三果樹の状況は西条柿、ブドウ類は猛暑や日照不足により着色不良ということで品質低下が見られ全体として減額となった。赤梨の生産量品質は平年並みで横ばいという結果。三果樹の合計では令和元年1億6800万円で対前年約4%680万円の減額。三果樹では減額だが西条柿では着色不良の生果をあんぼ柿の加工減量とし加工施設に受け入れているおかげであんぼ柿の生産量・額を伸ばしていることが見受けられる。これまでの取組の中でこの加工場の整備が農家所得の確保の一助となっていると思う。ブドウ、赤梨は近年改植や規模拡大による新植という取組を行っているがこの成果については、今年来年あたりから徐々に出始める、今後伸びてくるものと期待している。産出額調査は1月から12月という暦年調査。そのため、新型コロナウイルスの影響はあまり含んでいない数字になっている。新型コロナウイルスの影響はJAや認定農業者等へ随時聞き取り調査を行っている。今のところ大きな影響は出てないと聞いているが、観光農園や花には深刻な影響が出ている。今後も国県補助事業等注視し、市としても必要な対策を考えていきたい。

申崎委員長
川上委員

委員から質疑はあるか。

三果樹（柿・梨・ブドウ）について生産面積は増えつつある。梨は減りつつあるが頭打ち。ブドウは増えている。ブドウはこれまで販路は周辺だけだった。拡大していかねばならない。競合することがあるが何か考えはあるか。

農林振興課長

ご指摘のとおりブドウは産出量がなく主には県内消費のみだったが、今後出荷量が増加すれば広島、関西、関東に出すことも検討しなければならないが、他産地との競合になるので、どう有利販売していくかはJAや広島等と連携して有利にもっていききたい。

川上委員
農林振興課長

面積は拡大しつつあるが、販売方法の工夫はまだできていないのか。

具体的な計画はないが、今現在ここ数年で言うと金城ピオーネというブランド名である程度の維持ができていますので当面はこの販売経路を中心に販売が可能。まだ県内需要を十分満たす供給ができていないのでそういった意味では当面大丈夫。県内需要を超える量が産出されたらそれまでに何らかのどういった販売をするかJAと考える必要がある。

川上委員

金城ピオーネのポスターはかなり古い。販路拡大において最近の風潮を踏まえた新しいポスターの作成をして販路拡大してほしいので検討していただきたい。

飛野副委員長

西条柿は天候のため云々とあったがあんぼ柿の産出額は西条柿のところか農産物加工品の方に入っているのか。

農林振興課長

あんぼ柿は西条柿産出額に中に入っている。令和元年のあんぼ柿の分という約10万パックで3150万円程度の額になる。

野藤委員

はちみつの単位が100万単位になのはなぜか。集計方法が異なるのか。

農林振興課長

そもそも産出額については統計的調査を行う機関がなく、平成21年に浜田市が独自に産地強化協議会を立ち上げ、メンバーにアンケート調査的に実施する。個別農家がおられるので、所得税の申告時に出された金額を元に集計しているので調査が暦年となっている。金額は伝票から調べたものではないので個別の農家部分はざっくりしたアンケート調査によるあくまでも参考値で見てもらいたい。

申崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

ここで暫時休憩とする。再開は11時15分とする。

[11時 06分 休憩]

[11時 14分 再開]

申崎委員長
商工労働課長

会議を再開する。冒頭商工労働課長から1件報告がある。

萩・石見空港の新型コロナウイルス取組状況について報告する。検温については大きな6空港のみなのでやっていないが、マスク着用の徹底、マスクを持ってない人には渡して着用をお願いしている。出口に菌を持ち込ませないために消毒液を浸したマットを設置して持ち込ませないようにしている。当然入口には消毒液を置いている。空港関係者、全日空の関係者それぞれ対応策をいただいている。

布施委員

空港会社が検温はまだしていないとのことだが、空港券を予約してお金を払っている。搭乗キャンセルとなった際の費用はどうか調べてほしい。

商工労働課長

キャンセル料の取扱は、もう一度確認する。

(9) 漁業別水揚げについて (報告)

申崎委員長
水産振興課長

水産振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

4月の状況を報告する。4月の全体の水揚げ状況。昨年4月と比較して水揚げ量で前年比78%の1232トン、水揚げ金額では前年比76%の3億3828万円の水揚げである。地元沖合底引き網業の水揚げ状況。昨年4月と比較して、1カ統減少による影響で全体水揚げ量は前年比78%の314トン、水揚げ金額は前年比80%の1億4734万円。地元の今操業の4カ統だけ見ると1カ統当たりの水揚げ量・金額は前年4月と同程度。地元の中型巻き網漁業。昨年4月と比較して時化が多く出漁回数が減少した。マアジ・サバ・サワラの水揚げが大幅に減少して全体の水揚げ量としては、前年比17%の62トン、全体の水揚げ金額は前年比36%の2606万円である。県外船の大中型巻き網の水揚げについて。昨年4月と比較してサバ・カマス水揚げが増加して全体の水揚げ量として前年比148%の792トン、水揚げ金額で前年比160%の1億2432万円。イカ釣りの状況は主にするめの水揚げとなり全体水揚げ量で前年比1万2056%で約120倍の2トン。水揚げ金額は前年比1万562%増で昨年より105倍で1483万円。4月までの累計であるが前年比83.1%、金額でいうと約2億9千万円減。全体金額で13億9千万円。その他資料は確認願う。

- 委員から質疑はあるか。
- 道下委員 地元中型巻き網が時化で困ったらしい。時化でなくても漁を見合わせることもあり、漁獲量・高もずいぶん落ち込んでいる。その分大型巻き網がカバーしている。イカ船は好調と聞いて、海というのはわからないものだと思う。
- 水産振興課長 地元の巻き網は出漁しても魚がいないと苦慮するが、どう分析しているか。
- 道下委員 地元の巻き網については時化が続いて去年に比べ、回数も半減している。出ても1トン、2トンといった少量を水揚げしている。もう少し沖合になると、大中型巻き網になるとそこは浜田漁港に昨年よりも多く水揚げされている。沿岸の一本釣り含め時化で出られず量もとれず苦戦している。潮の流れや海水温も影響しているのでは。
- 水産振興課長 現在もどんちっちアジも脂がのって漁獲高に影響してくる。期待しているのだがその辺はどのように考えているか。
- 道下委員 5月の状況を見ると大中型も引き続き入港している。地元も時化続きでも頑張っている。実際にアジの脂乗りも徐々に高くなっている。どんちっちアジは昨年すごく不漁だったが、これからアジの水揚げは期待したい。
- 水産振興課長 昨年が過去最低だったが、今年もそれを下回るペースで水揚げがされている。コロナ禍の中で魚が売れないという状況を聞いている。今後生産者だけでなく仲買も含め、どのような影響を考えておられるか。
- 道下委員 漁業者含め、仲買さんで鮮魚を卸しているところ、水産加工業者、5月に入り水産振興課で聞き取りしている。状況を報告すると沖底もだがとりあえず今は例年並み。ただ飲食店・外食系に回る鮮魚である高級魚のタイ、アマダイは値が下がっている。他の魚でカバーしており例年並みかもしくは例年より少し漁獲はいいだろうと。巻き網はコロナと言うよりは時化で出漁できないという状況が続いており水揚げは少なくなる。高級魚ブリは魚価が下がっている。大枠で言えば影響は水揚げは落ちているが新型コロナウイルスの影響というよりは時化で落ち込んでいる状況である。
- 水産振興課長 仲卸、鮮魚、水産加工業者は3月特に中下旬から売上が落ち込んでいる状況。出荷先が外食産業、飲食店を中心とした旅館と言った業務用商品の減少が非常に厳しい。お土産、ギフト関連を扱っている観光メインの施設に出荷されているところも厳しい。スーパーなどの量販店、生協さんに取り扱いをされているところ、ネット通販等の個人向け商品が主なところは、例年並み、比較的減少幅は少ない。ただ、減少が多い所も確かにある。
- 道下委員 今後、終息を期待するが終息に向かっても外食産業にしても飲食にしても、人の動きはすぐには元に戻らないと考えている。引き続き飲食店や業務商品については少し戻るにしても今までどおりの取引、量は戻ってこないと感じている。メインがシフトする関係で、今までどおりの取引はできないだろうと思っている。今は国県の支援を手続きもあり煩わしさもあるので事業者に寄り添って相談を受け対応していきたい。聞き取り最中なので、十分丁寧に意見をうかがい、市としての必要な対応を

笹田委員

検討していきたい。特に販路回復に向けた支援になるのかなと思っている。もう少し事業者の意見を丁寧にかがいたい。

聞き取り調査中とのことで、それが終わり次第対策を講じられるのだろう。質問の意図は、現時点で困っているお店、仲買人業者の方がたくさんおられる。店が開いてないので魚を卸せない、公設市場の方も今市が行っているお魚センターのリニューアルに向けて取り組んでいるが、今のままだととても移動できない。収入も減っていることを聞いている。早急にそういうことを考えていかないと、せっかくリニューアルしたお魚センターに浜田市が描いた公設市場ができない可能性も危惧している。何か手を考えておられるか。

水産振興課長

鮮魚、卸、水産加工業者の全般的な聞き取りを行っている。実際に仲買売場、仲買マーケットについての卸屋さんにも聞き取りを全てしている。おっしゃるように非常に厳しい状況である。公設市場の移転に当たってはオープニングが大切なので仲買マーケットの事業者の皆から十分意見をうかがい、オープンに向けた対策を支援を含めて寄り添って話を聞いて対策を練っていきたい。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(10) エンジェルハンドに係る補助金返還命令及び損害賠償請求について (報告)

串崎委員長

商工労働課長。

旭自治区長

当時私が支所長時代から携わっているので私から説明する。

(以下、資料をもとに説明)

これまでの経緯は本年2月7日の全員協議会で旭温泉水を活用したすっぽん事業補助金詐欺容疑で逮捕された容疑者に対する裁判について令和2年1月15日の第5回の公判において詐欺容疑で4年6カ月の求刑で結審したところまで報告している。その後、令和2年2月の12日第6回公判で懲役3年の判決が出た。判決後記録をもとに補助金交付決定の取消にかかる返還命令及び損害賠償請求について顧問弁護士と協議して市の対応が決定したので報告する。2番目として旭温泉水有効活用起業支援事業補助金については浜田市が交付した582万1千円は事業を承継した会社への交付決定の取り消しや返還命令は行なわず、当該補助金に相当する額を損害賠償として刑事事件の原因者に連帯して支払いすることを請求する。事業承継した会社への交付決定取消と返還命令を行わない理由は、事業及び補助金にかかる権限を承継しているが不正行為による補助金受給は事業継承前に発生しているため、承継後の会社はエンジェルハンド経理担当の業務上横領、背任の被害を受けながらも養殖事業を継続しており合同会社へ返還命令を行うと養殖事業は必然的に中止せざるを得ない。市が当初の事業目的である温泉水を活用した地域振興を止めることになりかねないため。損害賠償請求理由は、原因者が補助金582万1千円を不正に受給し市に損害を与えたことが明らかであるため同額を連帯して支払う請求をする。

中小企業イノベーション支援事業補助金に関する対応について。これは旭温泉水有効活用起業支援事業補助金の不正受給案件を受けて商工労

働課が所管している浜田市中心企業イノベーション支援事業補助金についても調査を行った。交付総額は100万円。対応状況は補助金の実績報告書に添付されている全部または一部の領収書について当該領収書に記載されている発行者において発行されているものではないことが捜査で判明した。令和2年4月13日付けで補助金交付決定を取り消し、全額返還命令を行った。

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(11) ふるさと体験村施設の指定管理者公募期間の変更について (報告)

串崎委員長

旭自治区長。

弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

4月10日から公募を開始している。全国的な新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ公募期間を5月13日付で変更し周知している。変更理由は、新型コロナウイルスの影響を鑑み、全国的に公募をしており現地確認が困難で、できる限り公募期間を延長し公募への参加機会を確保したい。日程変更は変更前と変更後を比較する表をご参考いただきたい。7月以降以降のスケジュールに変更はない。

委員から質疑はあるか。

布施委員

前任の課長には聞いたことがあるが公募して挙手がなければどうするのかと聞いたことがある。期間延長しているが電話相談、申し込みを考えていることの情報はあるか。

私も外出禁止が解除になってから体験村に行った。こういう時期であるが施設のメンテナンスはどのような間隔でされているか。バンガローも道はきれいだが周辺の草木等整備されている感じは受けるがメンテナンスはどう実施しているか。

弥栄産業建設課長

申請者はまだない。問合せは現地見学が2件あった。電話問合せ1件。合わせて3件興味を示されている。

施設周辺整備については、草・木のことだろうと思う。私も先週現地に行ってみたら、かなり草木が伸びていた。ちょうど伸びる時期なので、来週あたりに草刈等の対応をする予定と考えている。頻度については、様子を見ながら年に何度かやりたい。ログハウスや宿泊の所については定期的に空気の入替えなどをするつもりである。

布施委員

問合せの3件については、県内の方か、わかれば報告いただきたい。

施設は風通ししておかないと、この時期カビが発生する。締め切った状況であれば現地で説明する際にも、開けた瞬間異臭がしたり、虫が出て良くない。風通しをしてメンテナンスをしないと自然が良くても施設が老朽化すると何だということになるのでしっかりやっていただきたい。

弥栄産業建設課長

あまり詳しくは言えないが、1件は県外、もう2件が市内で計3件。

風通しについてはおっしゃるとおりなので当面やってきたい。説明会前には事前に清掃と風通しはやっている。

笹田委員

3週間延長したが、指定管理の公募があるとお考えか。

弥栄産業建設課長

結論から言うと非常に難しいと正直思っている。緊急事態宣言を見ると解除されるかもしれないが、まだ県をまたいだ移動については当面自

笹田委員

粛されるだろう。3週間延長してどれだけ緩和されるかというところが見通しは厳しいが最大限の努力はしたいということで3週間の延長をした。県外からお見えになるのはかなり厳しいと思う。7月上旬から変更なしとなっているが、どうしても令和3年4月から指定管理を開始させたい思いがあるのか。しっかりした管理者が入らないと開所を焦っても同じ形にならないか。

弥栄産業建設課長

開始期間についてはこれまでも弥栄町の中でも議論してきた。開始時期をずらすと、再公募という手続きに仮になると時間がかかる。冬期の営業はやはり難しいと、今回の公募も春～秋までの約半年と見ている。これがずれるとさらに1年後になる可能性が大きくなる。施設等の老朽化も進むので体験村に対する公募の応募意識も低くなって機会が失われるのではと考え、予定通り令和3年4月をずらすことなくやりたい。

笹田委員

3週間ずらして7月からの予定は変更なしとの説明だが、課長の話ではずれると1年ずれるとの話だが、4月でなくても7月開始も可能ではないかと、準備ができ次第。指定管理者が決まって施設の改修の着手が9月となっているがこれも動かせないのか。

弥栄産業建設課長

可能性としては年度途中の開始もあろうかと思う。そうすると営業期間としては仮に7月開始になりオープンとなると冬前までの期間が短くなる。9月末の改修については、冬の期間ということがあり、9月末で改修するためにはそれまでに補正予算を上程して認めてもらうことが必要となる。その後の入札、改修着手になると冬期は雪が降るので工事期間がこれ以上後になると十分に期間がとれない。

笹田委員

指定管理者が決まらなければどうなるのか。

弥栄産業建設課長

まだ方針が決まっているわけではないが、公募でも手が上がらなければ、次のステップに進まざるを得ないのでは。これについては内部検討が必要だが一つの可能性として施設譲渡、公募でない形を検討する方向がでるのではと考える。

串崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

(12) 浜田駅前広場整備事業の進捗状況について

串崎委員長

建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

7月完成で進めていたが電柱移転や信号機設置に遅れが生じていることから、工期を見直して延長し、完成予定を令和2年12月とするものである。理由は、電柱移設にかかる隣接者との設置場所の調整に時間がかかり、設計が遅れたこと、新型コロナウイルスの影響で事業者がテレワークになり、電柱移転業務が遅れたため。信号機の灯器部分は県公安員会の対応になるため5月入札。今月末の入札。

今後の予定であるがピンク色は歩道部分を表している。緑色は歩道のシェルターで屋根。網掛け部分は施工中の箇所。工事予定は現在歩道シェルターと駅利用者駐車場を工事中。今後ロータリー出口の付け替え工事を予定している。この間新しい信号機設置、電柱移転、舗装、区画線の工事を予定している。南側市道は、2つの電柱を撤去して

舗装と歩道の整備を行う。現在取りかかっている。

供用の開始はこれ以後とご承知おきいただきたい。全体完成は12月と延長するが、できるだけ早めの完成に向けて今進めているのでご理解をいただきたい。

串崎委員長
川上委員

委員から質疑はあるか。

狭い範囲内の工事なので、複合する作業はたくさんある。同時に夜間する工事も出てくると思うが。

建設企画課長

工事の工程を見直したもので業者と協議している。夜間工事の必要に応じて行うこととしている。その際の対応もしていただく。

川上委員

夜間工事をすると夜間手当が発生する。材料がなかなか入りにくい。加算をしっかりと考えていただきたい。

建設企画課長

そのようにする。

笹田委員

5カ月延長するが事業費はどのようになるか。

建設企画課長

昨年度予算で7千万円程度繰り越しており、その中でやりくりする。

串崎委員長

補正はないのか。

建設企画課長

今のところ補正は予定していないが、最悪新型コロナウイルス関連で発生することがありお願いする場合があるかもしれない。今のところは繰り越しで対応する予定。

野藤委員

近隣事業者、銀天街の方とか、ビジネスホテルがオープンするので事前にお知らせや協議とか要望はあったか。

建設企画課長

5カ月延長することについては今後地元町内会や銀天街に周知しようと思っている。要望としては、まだこの延長について詳しい説明は地元にしていないのだが、延長に関して要望はないが以前からいただいているものとしてごみステーションの関係が懸案であるので、しっかり調整したい。

野藤委員

新型コロナウイルスで営業も厳しい中、5カ月工事が延長するとなると大変だろう。しっかりと説明を求める。

飛野副委員長

駅利用者の4つのスペースがあり非常に便利で良いと思う。サロンを利用するにしても。これはどう管理されるのか。ドライバーの良識に任せるのか。

建設企画課長

図面では青表示をしているが、これは市が管理する。左側2つは身障者用で屋根がついた形。右は青空の状態。以前も説明したが30分以内の短時間駅利用者向けになる。

飛野副委員長

30分というのはドライバーの良心に任せるのか。

建設企画課長

モラルにお願いしたいが分かりやすい表示は必要かと思う。状況を見てマナーが悪いようであれば再検討する。

飛野副委員長

市の駐輪場は、進入路はどこか。

建設企画課長

黄色が市営駐輪場で、ホテル側から借用している部分である。左側に通路がある。そちらで歩道側まで出る。石見交通ビルの下側が通路。

飛野副委員長

以前は通れない状態になっていた。ホテルを回り込まないと駅側に出られないようになっていた。石見交通の南側なら非常に楽である。

都市建設部長

駐輪場出入口については、以前から石見交通ビルとホテルの間に通路を設ける計画をしていた。

建設企画課長

この部分は以前から実際に通っていた。回る形ではなく仮設の時は確

串崎委員長

かにホテルを回る形になっていた。

他にあるか。

(「なし」という声あり)

(13) 浜田市雇用促進住宅の譲渡に関するアンケート集計結果について

串崎委員長

建築住宅課長。

建築住宅課長

(以下、資料をもとに説明)

令和2年2月浜田市雇用促進住宅4団地の入居者を対象としてアンケートを実施した。配付は入居戸数224戸に配付し回収戸数は102戸で回収率45.5%。浜田市が取得した経緯を知っていた方は回答の内49戸、48%で半数がご存じなかった。2つ目の10年間浜田市が管理し10年間の管理後は廃止・解体を前提としたことを知っていたのは28戸、27.5%。3つ目の市が現在考えている譲渡条件を踏まえた民間譲渡に対する意見については賛成が9件で8.8%、やむを得ない73件、71.6%、反対が14件、13.7%。続いてその他の意見を記載している、家賃について39件。民間譲渡について31件。その他の意見が38件。そのうち、家賃について記載した39件の内、家賃を上げないでほしいという意見が32件で最も多かった。民間譲渡について記載された31件の内、民間譲渡そのものに対する不安を書いたのが10件、民間譲渡せず市に持って欲しいと書いた方が8件。その他自由意見を抜粋して掲載している。家賃について11件。民間譲渡について10件、その他今の住環境等については17件。現時点での回答を書いている。アンケート実施より、入居者から市の説明不足や家賃、民間譲渡に関して不安を持っていることが分かった。今後入居者に丁寧に説明し、不安を取り除きたいと思っているが、現時点では入居者対象の説明会を開くのは困難なので、産業建設委員会終了後アンケート集計結果を入居者全員に配布する考え。金城団地については、入居者や地元まちづくり委員会から、アンケート結果を教えて欲しいという要望があったので、金城団地分のみとりまとめたものを事前に配布していることをご理解いただきたい。

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(14) その他

串崎委員長

その他、執行部から何かあるか。

商工労働課長

萩・石見空港のキャンセル料について補足がする。キャンセルが発生した場合の対応は、6/15(月)までは手数料なしでキャンセルに応じているとのこと。

串崎委員長

他に執行部からあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

以上で執行部からの報告事項は終了する。報告事項について「5月29日に開催される全員協議会へ提出して説明とすべきもの」を決定したい。執行部の意向を確認したい。

商工労働課長

(10)エンジェルハンドに係る補助金返還命令及び損害賠償請求について、(11)ふるさと体験村施設の指定管理者公募期間の変更について、(12)浜田駅前広場整備事業の進捗状況についての3件を説明させていただきたい。

串崎委員長

以上、執行部側の意向が報告された。これに対し、委員から意見があるか。

(「なし」という声あり)

それでは、そのように決定する。

2. その他

串崎委員長

その他、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

笹田委員

先日臨時会議で新型コロナウイルスの補正予算が可決された。6月1日から家賃補助申請が始まる。事業者から周知徹底をして欲しいということ、申請は簡素明瞭にしてほしいとのことがあり伝える。いま様々な補助が出ているができれば一元化してしっかり対応していただければ、事業者も負担がないと思うが。

商工労働課長

講堂の1室が、特別定額給付金10万円の関係で利用しているが、一部を借りて専用の窓口を開設しようと思っている。こちらでは家賃補助、観光の感染症対策の助成金や今後もしろいろ出てくるので。予約制で受付したい。基本はホームページに掲載しているが、郵送申請してもらうが内容が分かりにくいと電話でご相談いただいているので、窓口を開設して対応したい。

笹田委員

知っている人は問合せが来て説明が受けられるし、ホームページを見る方はそれを知ることができるが事業者の中には知らなかったということも出ることが想定されるので手厚くPRすることと、万が一、廃業につながるものがあってはならない。救われることもあるので努力も続けていただきたい。

商工労働課長

丁寧によっていきたい。まずはホームページに掲載している。商工団体の広報にもチラシを入れる準備をしている。金融機関が借入の相談を随時受けて回っているのでそこからの案内もしてもらう。関係機関一緒になってPRも努める。議員の皆さんにも紹介にご協力いただけると助かる。合わせて産業経済部だけではなくいろんな市の施策のPRを手法について検討しないといけないが行政情報番組等の活用で放送できないか関係部署とも相談している。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

では執行部はここで退席されて構わない。

《 執行部退席 》

3. 産業建設委員会の今後の取組について

串崎委員長

まず、取組について改めて確認する。2月25日の全員協議会の会議録をもとに説明し、流れを確認したい。

近重書記

(以下、資料をもとに説明)

総務文教委員会と福祉環境委員会の取組状況だが、総務文教委員会は5月21日に開催され、こどもの可能性を育む幼児教育について。議論に入る前にベースの学習が必要とのこと。

福祉環境委員会は5月14日に勉強会を開いている。関係団体のヒアリングは延期されている。

串崎委員長

4月16日に委員からの考えを本日聞くこととしている。今後のどのような進め方にするか。ご意見を願います。

野藤委員

産業建設委員会とすれば浜田港活性化、にぎわいづくりが大きなテーマだと思っている。今年に公設市場が7月にオープンする。11月に山陰浜田港公設市場がリニューアルオープンする。その辺を見据えて活性化の提言をせねばと思う。翻って見ると漁獲高、観光客の来場が見込めるのかといったご意見もあるので、その辺のすり合せが非常に厳しい。政策でいくらか緩和できないかと私は考えている。

布施委員

ハード的なものは高度衛生荷捌所もオープン予定だし、指定管理者も決定した。公設仲買売場の移転もスムーズに、今と同じように新しいところに行っても業者が営業できるように後押しすることに私たちのある程度の役目があるのではと思っている。その中で、魚価や漁獲量が依然として低い。全体量が低い中で浜田港の活性化について提言するに当たり、大本の、獲れるものが獲れない場合にどうするのかと思う。加工品や周辺施設整備。魚ではなく浜田市民がそこに魚を買う以外に行くことも考えることも合わせて提言できれば良いと思う。禁止されている釣り客、マリンレジャーが、他にはない、漁港を持ってない所に比べたら大きな強みになる。もう一つ。陸上養殖も合わせて推進していくべきではないか。陸上養殖においてもいろいろな取組、浜田市の政策を見ると先進地事例は参考にするが、自分たちが先進地になろうという気持ちが見えてこない。陸上養殖にしてもやってダメ元というのも予算を執行する上ではダメかもしれないが工夫すればできることがあると思う。先進地になるべく漁港活性化の部分でやっていただきたい思いがある。

道下委員

先般から言っているように、漁港、浜田港、大きな意味で浜田港、その中でも漁港の方。先ほど野藤委員が言ったが7号市場ができる、山陰浜田港、旧お魚センターリニューアル、これがコロナに対応した、これを含めてやるべきではないか。

川上委員

この時期コロナの関係を見ると、今後も県境を越えての集客はなかなかあてにならない。漁港の発展のために周辺、島根西部を取り込む方策を何か考えねばと考えている。その面を推して最終的にはコロナ終息後に県境をこえてきてもらえるものを作らないといけないのではないかと。笹田委員が言っていたが仲買の方が入りにくいということなので意見を聞いた方が良いと思う。

笹田委員

以前私が出したとおり、浜田漁港活性化については昨年も行ったが、今年に浜田市も大きな事業を抱えているため、さらにそういった討論が必要ではないかと思う。時期は焦らなくてもいいかもしれないがやるのであれば議論する必要があるのではないかと思う。

飛野副委員長

産業という立場でいうと一次産業。一次産業を核とした地域の活性化

串崎委員長

にやはりもっと手を広げるべきだと思う。さきほどあるように焦ってするのではなく、しっかり議論して提言に結びつける形でやりたい。

お聞きしたら漁港関係がほとんどで。飛野副委員長が一次産業。漁港もあるが焦って考える必要はないと。漁港関係に関するのを委員会としては進めていく形にして。焦ってやる必要はないのでゆっくりやっていきたい。一月に1回くらい勉強会をしたい。次回はいつだったか。

近重書記

6月23日。議案審査の後。

串崎委員長

議案審査の後に、勉強会の題目を決める程度だと思う。では6月23日に決めさせていただく。その他にあるか。

(「なし」という声あり)

産業建設委員会を終了する。

[12 時 24 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行 ㊞